

さわやか

令和7年度水戸市消費者行政概要



みとちゃん



水戸市消費生活センター

目 次

1 消費者行政の概要	1
1) 市政の概要	
2) 施設の概要	
3) 沿 革	
4) 機 構	
5) 消費生活センターの運営体制	
6) 事務分掌(市民活動・消費生活係)	
7) 事務決裁規程	
8) 消費者団体の支援	
9) 予 算	
2 令和7年度消費生活センター事業実績	8
1) 事業計画	
2) 消費生活センター事業実績	
3) 市民に対する啓発事業	
4) 多重債務者のための心のケア事業	
5) 県などの消費生活相談事業や啓発事業への協力、イベントへ参加	
6) 職員の研修への参加	
7) その他	
3 参考資料	26
1) 広報みと・消費生活センター啓発ページ テーマ	
2) 移動教室の状況	
3) 国民生活白書等テーマの変遷	
4) 消費生活展団体テーマの変遷	

1 消費者行政の概要

1) 市政の概要

本市は、首都東京から約 100 キロメートルの距離にあり、関東平野の北東端に位置する茨城県の県庁所在地であり、市域の北側は那珂川を隔てて、ひたちなか市、那珂市に接しており、東側は大洗町に、南側は茨城町に、西側は笠間市、城里町に接しています。

1 年を通してみた場合、寒さのやや厳しい冬の季節を除くと比較的温かな気候であり、春には水戸の「梅まつり」が行われています。

古くから地域の要所でしたが、江戸時代において御三家水戸徳川家が成立し、関東では江戸に次ぐ城市に拡大整備され、「天下の副将軍」として全国的にも有名になりました。歴代の水戸藩主の中では、2 代光圀公と 9 代斉昭公が特に傑出していたと言われています。

明治維新の廃藩置県の際、明治 22 年 4 月 1 日に周辺地域を合併して、横浜市など 30 市とともに全国で初めて市制を施行し、水戸市が誕生しました。その後、周辺の町村を合併、平成 4 年に常澄村、平成 17 年 2 月 1 日に内原町と合併して、現在の市域が確立しました。

水戸市の人口と面積（令和 8 年 4 月 1 日現在）

人 口 265,037 人（男 130,124 人 女 134,913 人）

世 帯 128,700 世帯

面 積 217.32 km²

2) 施設の概要

(1) 名 称 水戸市消費生活センター

(2) 所 在 地（平成 31 年 1 月 4 日 水戸市消費生活センター機能を水戸市役所 2 階に移転）

<移転前>水戸市五軒町 1 丁目 2 番 12 号 みと文化交流プラザ 3 階

<移転後>水戸市中央 1 丁目 4 番 1 号 水戸市役所 2 階

(3) 施設の内容

<移転前> 事務室・・・・・・・・・・・・・・・・・・62.61 m²

みとりサイクルコーナー・ごけん・・・・・・・・40.46 m²

相談室（11.50 m²+10.15 m²）・・21.65 m²

くらしの情報館・・・・・・・・・・・・・・・・27.00 m²

<移転後> [水戸市役所 2 階]

事務室・・・・・・・・・・・・・・・・・・80.7 m²

相談室（6.6 m²×2）・・・・・・・・・・13.2 m²

[みと文化交流プラザ 3 階]

みとりサイクルコーナー・ごけん・・・・・・・・40.46 m²

くらしの情報館・・・・・・・・・・・・・・・・27.00 m²

(4) 開 所 時 間 月曜日から土曜日までの午前 8 時 30 分から午後 5 時 15 分まで
(相談業務は午前 9 時から午後 5 時まで)

(5) 休 所 日 日曜日・国民の祝日及び年末年始

3) 沿 革

昭和 43 年度	商工農林部商工課内に消費経済係を設置 消費生活モニター設置運営要項施行
47 年度	商工農林部商工課消費経済係を消費生活係に係名変更
48 年度	水戸市消費生活相談処理要項施行
49 年度	機構改革により市民部消費生活室に
50 年度	市民部内に消費生活室と消費生活係、教育委員会内に文化福祉会館を配置 水戸市消費者団体事業補助金交付要項施行 水戸市文化福祉会館竣工に伴い、消費生活センターを設置、相談員 1 名 不用品交換バザールを開催（消費者団体、婦人会の協力により 4 回実施）
51 年度	消費生活センター内に、省資源運動の一環で不用品交換コーナーを常設
52 年度	消費生活室の庁外組織として、消費生活センターを文化福祉会館に設置
56 年度	機構改革に伴い消費生活室を廃止、消費生活センターは市民生活課の庁外組織に変更
58 年度	消費者団体・五軒消費生活グループに不用品交換コーナーの運営を委託
62 年度	行政見直しにより、職員定数 3 名を 2 名に、相談員 1 名から 2 名に
平成 元年度	水戸市消費生活相談員規則施行
4 年度	相談員 2 名から 1 名に
10 年度	相談員 1 名から 2 名に
12 年度	水戸市消費生活相談処理要項改正 茨城県生活情報体制整備費補助事業により、センター内にパソコン 5 台設置
13 年度	文化福祉会館から男女文化センターに名称変更、所轄が市民環境部から市長公室に 消費者団体・渡里消費生活クラブ解散 消費者団体・水戸セイフティーネット設立 消費生活センターホームページ開設 男女文化センターびよんど開設に併せて、消費生活センター内に「くらしの情報館」 「相談室」設置 日用品交換コーナーを「みとりサイクルコーナー・ごけん」に名称変更し再開 P I O - N E T（全国消費生活情報ネットワークシステム）を茨城県生活情報体制整備費補助金により設置
14 年度	水戸市が茨城県市町村消費者行政推進協議会の副会長、県北地区の会長に
16 年度	10 月から第 1 週の月曜日に、NHK 水戸放送局県域デジタルテレビ番組に出演 2 月 1 日内原町合併により、消費者団体・内原町くらしの会が加わる 3 月から隔週の火曜日に、県域コミュニティラジオ FM ぱるるんに出演 6 月、「消費者保護基本法」が改正され、「消費者基本法」が制定
17 年度	相談員 2 名から 4 名に増員、相談用に電話機を 1 台から 2 台に増設 消費生活相談カード直接作成システム設置 水戸市消費生活相談員規則改正 水戸市消費者団体事業補助金交付要項改正 第二回消費生活能力検定試験の水戸での団体受験会場を運営 消費生活モニター設置運営要項を廃止（平成 17 年度でモニター制度廃止）

18年度	特定非営利活動法人NPO消費者相談室に委託し、土曜日の相談業務を開始 財団法人日本消費者協会との共催により第45期消費生活コンサルタント養成講座の茨城県会場を運営（7月より10週間） 平成18年度をもって消費者団体・石川消費生活クラブ及び河和田消費生活クラブが解散
20年度	消費生活センターの運営を特定非営利活動法人NPO消費者相談室に全面委託 消費生活センター連絡調整会議発足 「脱多重債務者応援事業マニュアル」作成 平成20年度をもって消費者団体・常澄生活学校が解散
21年度	消費者庁発足 消費者ホットライン開始 平成21年度をもって消費者団体・水戸生活学校が解散
22年度	男女文化センターから「みと文化交流プラザ」に名称変更
23年度	こころとくらしの無料法律相談を開始 中学生のための消費者教育副読本「水戸くらしの読本」発行
25年度	3月「水戸市消費生活条例」制定
26年度	3月「水戸市消費者教育推進計画」策定
27年度	4月「健全で豊かな消費生活都市」を宣言
28年度	12月 水戸市マスコットキャラクター「みとちゃん」の消費者教育推進大使の委嘱
30年度	1月 水戸市消費生活センター機能を水戸市役所2階に移転 平成30年度をもって消費者団体・水戸セイフティーネットが解散
31年度	消費者団体・水戸市消費者サポーターの会設立
令和 2年度	5月「水戸市消費者教育推進計画（第2次）」策定
4年度	3月 消費者団体・内原町くらしの会が解散
6年度	10月「水戸市消費者教育推進計画（第3次）」策定

4) 機 構



5) 消費生活センターの運営体制

職 名	担当業務	職員数	備 考
センター長	総 括	1	
事務長	事務総括	1	
相談員	相談業務	7	

6) 事務分掌（市民活動・消費生活係）

1～6 （略）

7 消費生活に関すること。

8 消費生活センターの運営に関すること。

7) 事務決裁規程

市民活動に関する事項	副市長	部長	課長	課長補佐等
(1)～(7)（略）				
(8) 消費生活に関する事務処理			○	
(9) 多重債務相談等に関する事務処理			○	
(10) 消費生活センターの運営			○	
(11) 消費者団体に関する事務処理			○	

8) 消費者団体の支援

水戸市内の4消費者団体の自主的な活動を推進するために助成した。

団体名	結成年月日	代表者
水戸暮らしの会	昭和47年 4月25日	種 村 和 子
つねづみ消費者友の会	昭和51年 3月 1日	田 山 喜 子
五軒消費生活グループ	昭和54年 5月 1日	杉 田 真由美
水戸市消費者サポーターの会	平成31年 4月 1日	古 杉 進

9) 予 算

年 度	最終歳出予算額	最終執行額	
平成15年度	5,992,000円	5,831,264円	
平成16年度	5,153,000円	4,973,657円	
平成17年度	6,857,000円	6,452,599円	
平成18年度	6,665,965円	6,581,953円	
平成19年度	6,483,000円	6,135,112円	うち消費生活センター業務委託
平成20年度	18,505,000円	18,486,580円	18,238,500円
平成21年度	21,219,000円	20,909,806円	17,952,900円
平成22年度	27,222,000円	22,035,692円	17,851,965円
平成23年度	25,780,000円	25,520,640円	17,894,100円
平成24年度	18,028,000円	18,011,140円	17,665,200円
平成25年度	22,574,000円	22,106,833円	17,761,800円
平成26年度	23,642,000円	22,886,102円	17,847,000円
平成27年度	22,367,000円	20,162,435円	16,694,640円
平成28年度	22,989,000円	20,366,076円	14,904,000円

平成29年度	22,742,000円	14,701,802円	10,837,898円
平成30年度	23,180,452円	23,048,200円	17,847,000円
令和元年度	23,276,000円	22,945,251円	18,013,320円
令和2年度	2,524,000円	18,825,832円	18,240,710円
令和3年度	24,144,000円	22,809,794円	20,508,400円
令和4年度	22,085,000円	21,877,716円	20,703,100円
令和5年度	22,750,000円	22,212,212円	20,842,800円
令和6年度	22,632,000円	22,110,636円	20,819,985円
令和7年度	26,103,000円	24,312,163円	20,926,888円

※ 上記のほか、地域活性化交付金（住民生活に光をそそぐ交付金）を、平成22年度に
4,500,000円計上し、平成23年度に繰越明許し、3,555,300円を執行した。

（特定財源）

年 度	補助金等名	金 額
平成15年度	茨城県生活情報体制整備補助金	1,263,000円
	金融広報推奨事業補助金	63,000円
平成16年度	茨城県生活情報体制整備補助金	1,033,000円
	金融広報推奨事業補助金	100,000円
平成17年度	金融広報推奨事業補助金	100,000円
平成18年度	金融広報推奨事業補助金	100,000円
平成19年度	なし	
平成20年度	金融広報事業補助金	100,000円
平成21年度	地方消費者行政活性化事業補助金	2,748,106円
平成22年度	地方消費者行政活性化事業補助金	5,248,127円
	金融広報推奨事業補助金	40,015円
平成23年度	地方消費者行政活性化事業補助金	10,039,600円
	金融広報推奨事業補助金	100,000円
平成24年度	地方消費者行政活性化事業補助金	1,400,000円
	金融広報推奨事業補助金	100,000円
平成25年度	地方消費者行政活性化事業補助金	5,293,173円
	金融広報推奨事業補助金	100,000円
平成26年度	地方消費者行政活性化事業補助金	4,690,355円
	金融広報推奨事業補助金	100,000円
平成27年度	地方消費者行政活性化事業補助金	4,500,023円
	金融広報推奨事業補助金	100,000円
平成28年度	地方消費者行政推進事業補助金	5,217,892円
	金融広報推奨事業補助金	100,000円

平成 29 年度	地方消費者行政推進事業費補助金 金融広報推奨事業補助金	4, 178, 559 円 100, 000 円
平成 30 年度	地方消費者行政推進事業費補助金 金融広報推奨事業補助金	4, 094, 337 円 100, 000 円
令和元年度	地方消費者行政推進事業費補助金 金融広報推奨事業補助金	4, 464, 362 円 100, 000 円
令和 2 年度	地方消費者行政推進事業費補助金 金融広報推奨事業補助金	235, 168 円 100, 000 円
令和 3 年度	地方消費者行政推進事業費補助金 金融広報推奨事業補助金	1, 777, 834 円 25, 000 円
令和 4 年度	地方消費者行政推進事業費補助金 金融広報推奨事業補助金	458, 773 円 100, 000 円
令和 5 年度	茨城県消費者行政強化事業及び推進事業費補助金	401, 689 円
令和 6 年度	茨城県消費者行政強化事業及び推進事業費補助金	487, 180 円
令和 7 年度	茨城県消費者行政強化事業及び推進事業費補助金	1, 953, 324 円

※ 平成 22 年度の金融広報推奨事業は、東日本大震災の影響で中止となり、100, 000 円のうち必要経費を除く 59, 985 円を茨城県金融広報委員会に返還した。

2 令和7年度消費生活センター事業実績

1) 事業計画

(1) 消費生活相談

- ①消費生活に関する相談
- ②多重債務問題の解決と生活再建のためのサポート
- ③専門相談員（弁護士、司法書士、建築士、精神保健福祉士）による専門相談を実施

(2) 消費者啓発・消費者教育

- ①出前講座の実施
- ②小・中学校・高校・大学・専門学校での消費者教育
- ③消費生活講座の開催
- ④みと消費者大学の開催
- ⑤消費者月間市民のつどいの開催
- ⑥消費者団体研修講座の開催
- ⑦金融広報委員会推進事業の開催
- ⑧情報誌の発行
 - 「いきいき」 A4判両面
 - くらしのお手伝いと多方面の情報を掲載
- ⑨チラシ・パンフレットの発行
 - 外部印刷、内部印刷によるリーフレット・チラシの作製
- ⑩広報みと等の広報媒体を活用した普及啓発活動
- ⑪テレビ・ラジオを媒介しての啓発
- ⑫ホームページを媒介しての啓発
- ⑬水戸市消費者行政概要「さわやか」原稿
- ⑭他機関と連携し、成人式でチラシ等の配布
- ⑮高齢者被害防止のため街頭キャンペーンの実施
- ⑯環境フェアでの消費者サポーターと共同によるパネル展示

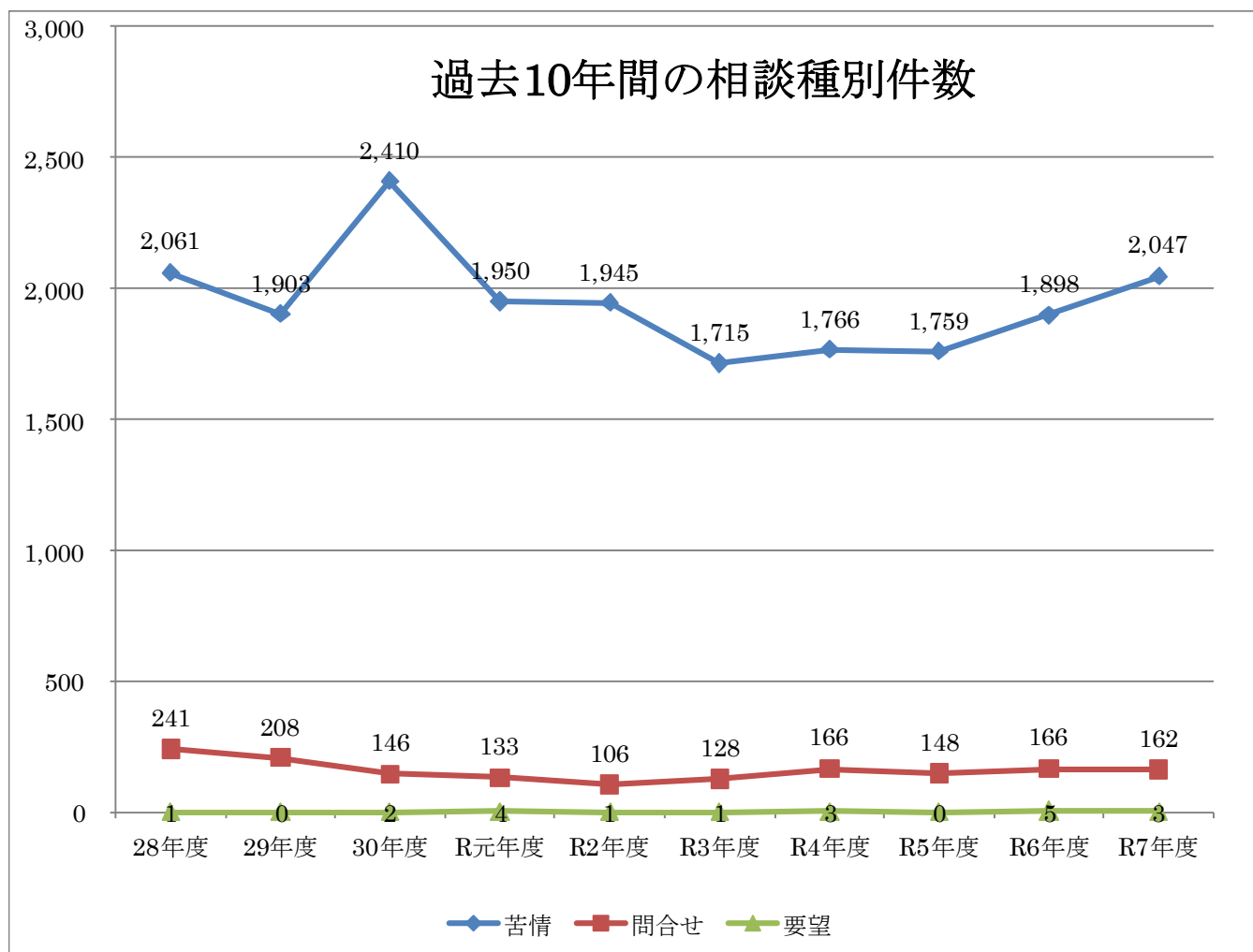
(3) その他

- ①連絡調整会議（市民生活課・関連部署……随時）
- ②消費者庁、国民生活センター、県のアンケート回答や調査報告
- ③国民生活センター研修及び県消費生活センター研修、他機関が実施する研修への参加
- ④業者訪問の対応
- ⑤その他

2) 消費生活センター事業実績

(1) 相談件数の推移

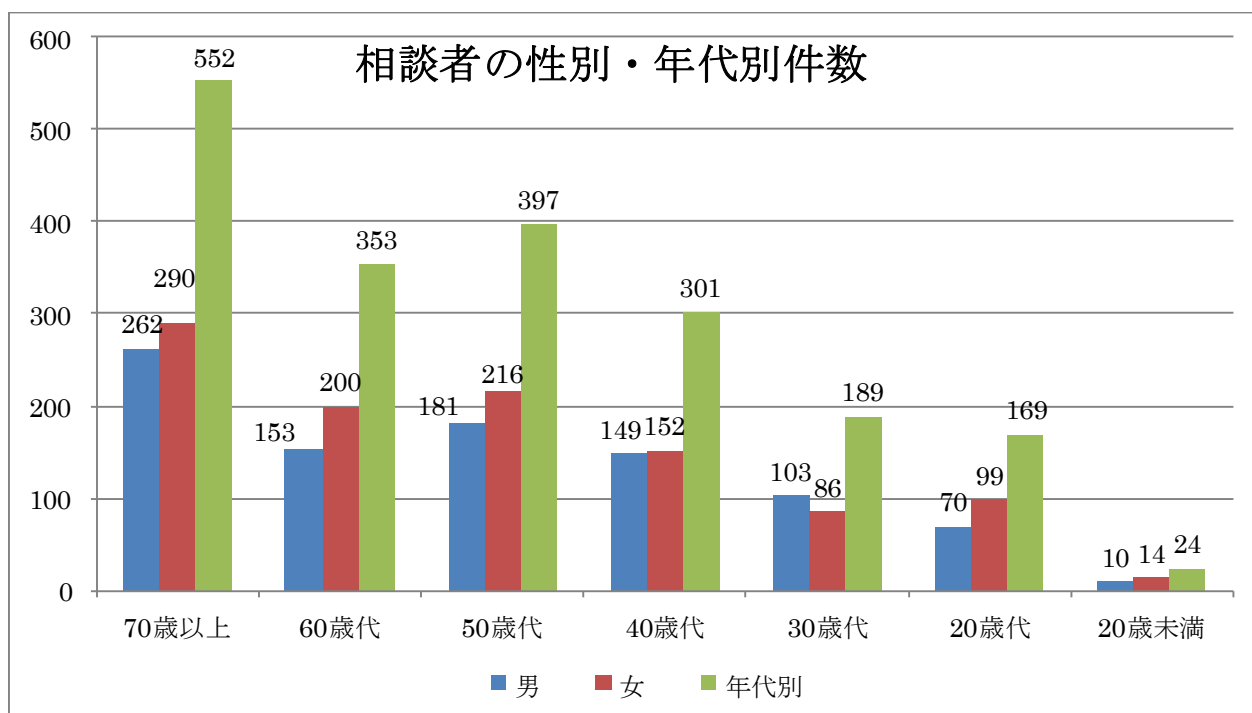
令和7年度の相談件数は2,160件でした。本市においては、前年度から約97件の増となっております。



	28年度	29年度	30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
苦情	2,061	1,903	2,410	1,950	1,945	1,715	1,767	1,759	1,898	2,047
問合せ	208	146	133	106	128	166	147	166	162	109
要望	0	2	4	1	1	3	0	5	3	4
合計	2,269	2,051	2,547	2,057	2,074	1,884	1,914	1,930	2,063	2,160

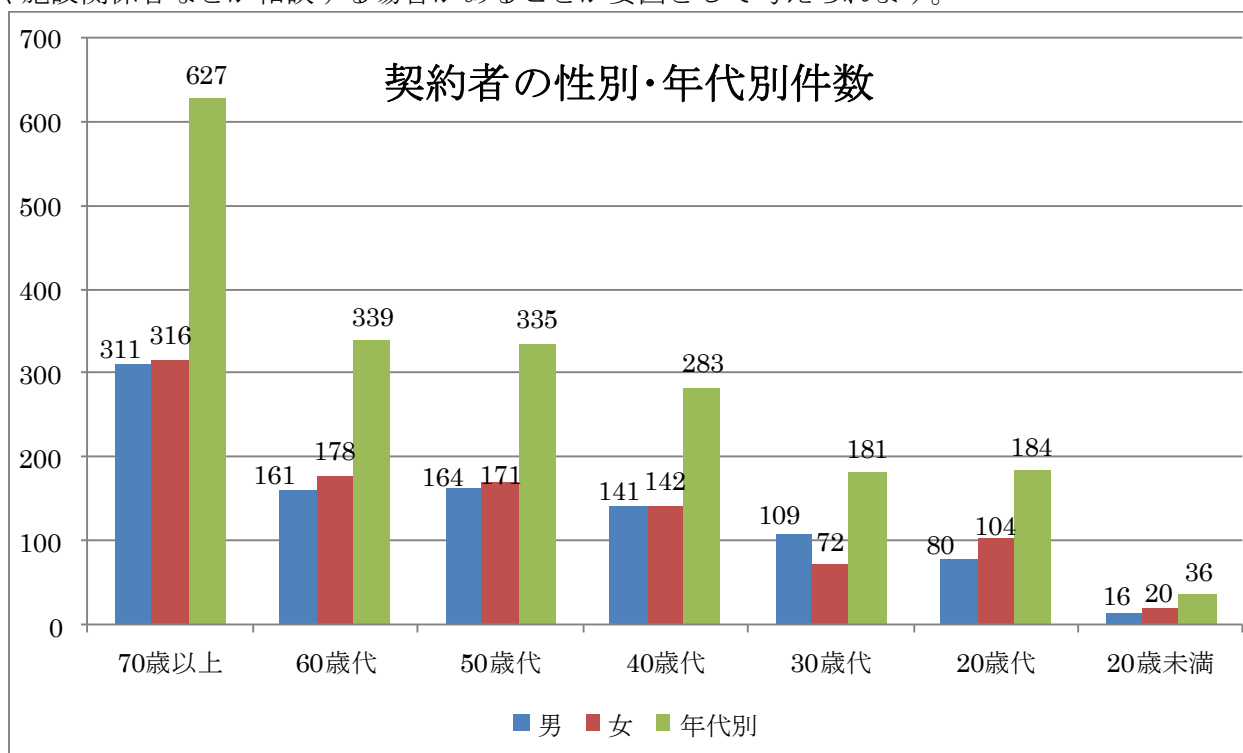
（２）相談者の性別・年代別状況（苦情）

相談者は70歳以上女性が最も多く、次いで、70歳以上男性、50歳代女性と続きます。年代別では、70歳以上、50歳代、60歳代の順となっております。このように50歳以上の方からの相談が多い状況となっております。



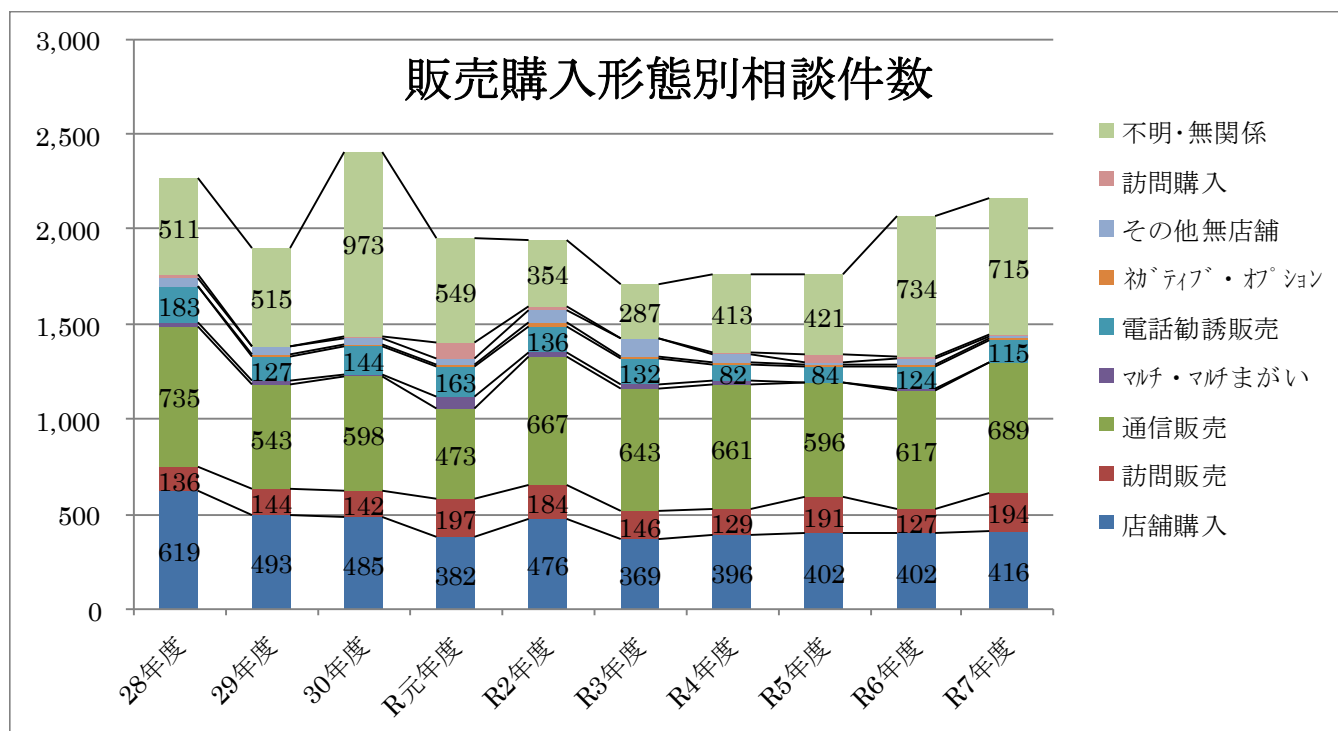
（３）契約者の性別・年代別状況（苦情）

契約者別でみると、70歳以上が契約者となっているケースが最も多く、次いで、60歳代、50歳代と続きます。特に、70歳以上が多いのは、高齢者が行った契約について、契約者本人に代わって、家族や施設関係者などが相談する場合があります。これが要因として考えられます。



(4) 販売購入形態でみる相談状況（苦情）

「通信販売」が増加傾向にあります。「通信販売」にはインターネットでのショッピングのほか、スマートフォンなどでの定期購入や架空請求もカウントされています。新型コロナウイルス感染症の減により、消費者の外出による商品購入の増加や、業者による訪問機会の増加により「訪問販売」などが点検商法などの件数を押し上げました。



	28年度	29年度	30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
店舗購入	619	493	485	382	476	369	396	402	402	416
訪問販売	136	144	142	197	184	146	129	191	127	194
通信販売	735	543	598	473	667	643	661	596	617	689
マルチ・マルチまがい	24	23	15	67	27	25	19	9	12	5
電話勧誘販売	183	127	144	163	136	132	82	84	124	115
ネガティブ・オプション	7	7	8	9	23	13	8	10	11	3
その他無店舗	38	42	36	24	56	95	50	5	23	13
訪問購入	16	9	9	86	22	5	8	41	13	10
不明・無関係	511	515	973	549	354	287	413	421	734	715
年度別件数	2,269	1,903	2,410	1,950	1,945	1,715	1,766	1,759	2,063	2,160

(販売購入形態の用語の説明)

店舗購入	店舗で商品などを購入した場合。
訪問販売	家、職場などに事業者が訪問してきて契約したもの。 (※自分で家、職場に呼んだ場合は除く。)
通信販売	郵便、電話、ファックス、インターネットなどの通信手段を用いて契約した場合。
マルチ・マルチまがい	特定商取引法に定められている連鎖販売取引（マルチ商法）やマルチ商法まがいの取引。
電話勧誘販売	業者が消費者に電話をかけ、その電話における勧誘により、郵便等で契約をさせる販売方法。
ネガティブ・オプション	消費者から申し込まないのに、業者が売買契約の申し込みにかかわる商品を送付する販売方法。「送り付け商法」ともいう。
その他無店舗	店舗ではないところでの契約。屋台、露天、自販機など。
訪問購入	業者が、家に貴金属や金券などを買い取りに来て売却した場合。
不明無関係	上記以外のものまたは無関係のもの。慣習や法律についてなど。

(５) 相談の主な商品・サービスの上位１０

順位	サービス内容	主な内容	件数
1	商品一般	商品名を明らかにしない架空請求や、電話勧誘などの相談	2 5 9
2	フリーローン・サラ金	多重債務の債務整理、ヤミ金融や保険金、詐欺などの相談	1 4 3
3	不動産賃借	賃貸住宅退去時の原状回復や費用負担・敷金返還などに関する相談	7 3
4	工事・建築	住宅の新築、リフォームに関する相談	6 6
5	基礎化粧品	基礎化粧品の定期購入などの相談	5 7
6	他の健康食品	栄養補助食品、サプリメント	4 6
7	金融サービスその他	クレジットカード、暗号資産、債権回収サービス	4 2
8	携帯電話サービス	携帯電話サービス、スマートフォン、SIMカードの契約、携帯電話のレンタル	4 2
9	インターネット接続回線	プロバイダーやインターネット回線の料金やサービスの内容に関する相談	4 2
10	電気設備	ブレーカー、分電盤など	3 8

(6) 契約者の年代別でみる相談の主な商品とサービスの状況（苦情）

20歳未満

順位	商品・サービス	件数
1	インターネットゲーム	3
2	電気	2
3	基礎化粧品	2
4	レンタルサービス	2
5	他のネット通信関連サービス	2

20歳代

順位	商品・サービス	件数
1	フリーローン・サラ金	23
2	商品一般@	14
3	エステティックサービス	9
4	不動産賃借	8
5	金融関連サービスその他	6

30歳代

順位	商品・サービス	件数
1	フリーローン・サラ金	23
2	商品一般@	18
3	不動産賃借	12
4	四輪自動車	6
5	エステティックサービス	6

40歳代

順位	商品・サービス	件数
1	商品一般@	28
2	フリーローン・サラ金	25
3	不動産賃借	20
4	基礎化粧品	8
5	携帯電話サービス	7

50歳代

順位	商品・サービス	件数
1	商品一般@	39
2	フリーローン・サラ金	30
3	他の健康食品	12
4	基礎化粧品	12
5	不動産賃借	12

60歳代

順位	商品・サービス	件数
1	商品一般@	44
2	工事・建築	13
3	フリーローン・サラ金	13
4	基礎化粧品	11
5	インターネット接続回線	10

70歳以上

順位	商品・サービス	件数
1	商品一般@	110
2	工事・建築	34
3	電気設備	33
4	フリーローン・サラ金	27
5	基礎化粧品	22

その他・不明

順位	商品・サービス	件数
1	商品一般@	5
2	他の化粧品	3
3	不動産賃借	3
4	四輪自動車	2
5	フリーローン・サラ金	2

(7) 多重債務相談の件数と債務整理

令和7年度

(件)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来所	7	12	11	12	9	9	9	7	10	11	8	9	114
電話相談・問合せ	4	3	0	1	2	2	1	10	1	2	1	0	27
合計	11	15	11	13	11	11	10	17	11	13	9	9	141
うち水戸市経由	0	3	0	4	2	4	2	0	1	2	3	0	21

来所相談…来所して相談を行い、具体的な説明・聞き取りを行った者

電話相談…電話で相談を行い、具体的な説明・聞き取りを行った者

問合せ…電話で相談を行い、一般的な説明を行った者又は契約者本人以外の者

(8) 専門相談員の相談件数

センターでは、消費生活相談員その他、専門相談員として、弁護士や司法書士等の専門家がそれぞれの専門分野を活かして、消費生活相談に応じています。

専門相談員：弁護士、(22人) 司法書士 (10人)、建築士 (2人)、精神保健福祉士 (5人)

延べ相談日：合計 39 日

延べ相談者数：82 人

弁護士～4月23日(水) 3組3人・5月14日(水) 3組3人・5月28日(水) 3組3人
6月11日(水) 2組2人・6月25日(水) 2組2人・7月9日(水) 3組3人
7月23日(水) 3組3人・8月13日(水) 3組3人・8月27日(水) 3組3人
9月10日(水) 3組3人・9月24日(水) 3組3人・10月8日(水) 3組3人
10月22日(水) 2組2人・11月12日(水) 3組3人・11月26日(水) 2組2人
12月10日(水) 3組3人・12月24日(水) 3組3人・1月14日(水) 3組3人
1月28日(水) 3組3人・2月25日(水) 3組3人・3月11日(水) 3組3人
3月25日(水) 2組2人

司法書士～4月2日(水) 2組2人・6月4日(水) 1組1人・7月2日(水) 1組1人
8月6日(水) 1組1人・9月3日(水) 1組1人・10月15日(水) 1組1人
12月3日(水) 1組1人・1月7日(水) 1組1人・2月4日(水) 2組2人
3月4日(水) 1組1人

建築士～5月1日(木) 2組2人・2月5日(木) 1組1人

精神保健福祉士～5月20日(火) 1組1人・7月15日(火) 2組2人

10月21日(火) 1組1人・11月18日(火) 1組1人・12月16日(火) 1組1人

3) 市民に対する啓発事業

(1) 啓発のための講座・講演会の開催

「水戸市消費者教育推進計画」に基づき「消費者の権利の尊重」「消費者の自立」「消費者被害の未然防止」を目的とし、また、消費者庁の強化事業のSDGs推進のため、学校・家庭・地域・職域において消費生活に関する情報や学習の機会を提供いたしました。また、持続可能な消費者市民社会の構築のため、環境や人・社会・地域に配慮したエシカル消費を推進する講座を行いました。令和4年から成年年齢が18歳に引き下がったことから、専門学校・高等学校・中学校での講座にて、対面授業による啓発をしました。女子高等学校では、男女平等参画課と共催でAV契約の解除方法などを含む消費者教育を行いました。さらに、生涯学習課のいきいき出前講座については、高齢者からの申し込みや「若者の消費者被害対処法」、「キャッシュレス時代に向けて」、「デジタル時代に向けて」、「エシカル消費」や「新時代のお片付け術」などの申し込みが目立ちました。

- ①令和7年度の消費者月間「消費者市民のつどい」の全国統一のテーマは、「明日の地球を救うため消費者にできること『グリーン消費志向～どのグリーンにする～』」です。テーマに基づき、消費者教育講演会を開催いたしました。消費者サポーターも参加いたしました。

日時：令和7年5月20日（火） 午後1時～3時

会場：水戸市役所 2階市民協働会議室（こみっとルーム）

内容：「エシカルな消費、そしてその先へ」～グリーン消費志向をめざして～

講師：茨城大学人文社会科学部教授 蓮井 誠一郎氏

参加人数：38名

- ②毎年恒例の、小学生とその保護者を対象とした親子環境教室は、クイズなどをしながら地球の温暖化など環境問題を学びました。さらに、夏休みの思い出づくりを目的として、使用済みのペットボトルを再利用して、親子で万華鏡を作りました。

日時：令和7年8月1日（金） 午前10時～12時

会場：水戸市役所 2階 市民協働会議室（こみっとルーム）

内容：「ペットボトルで万華鏡をつくろう」

講師：気象予報士 県地球温暖化防止活動推進員 岸 倫男氏

参加人数：小学生と保護者15組32名

- ③消費者教育講演会

日時：令和8年1月～ 市役所ホームページにて教職員・市民に配信

内容：「SDGsの理念とエシカル消費～グリーン志向消費と平和へのつながり～」

講師：茨城大学人文社会科学部教授 蓮井 誠一郎氏

- ④みと消費者志向経営推進シンポジウム

事業者と市民がともに創る持続可能な消費者市民社会を目指し、開催4回目となるシンポジウムを行いました。大学教授による消費者志向経営についての講演と、消費者志向経営自主宣言をした事業者の報告が行われ、市内の事業者、市民、消費者サポーターが参加しました。

日時：令和8年1月23日（金）午後1時～3時

場所：水戸市役所4階 中会議室

基調講演：「選ばれる企業になるための消費者志向経営」

講師：金城学院大学教授 丸山 千賀子氏

事業報告：「消費者志向経営について」 マルハニチロ株式会社 業務推進課 課長 富田 理恵氏

参加人数：事業者及び市民 合計 53 名

⑤令和7年度消費生活講座

日時：令和8年3月21日(土) 午後2時～3時30分

場所：市役所2階 市民協働会議室（こみっとルーム）

内容：「生活習慣病を学び健康長寿を保とう」

講師：大場内科クリニック 院長 医学博士 小林 正貴氏

参加人数：40 名

⑥令和7年度消費者市民大学公開講座

日時：令和7年10月17日(金)

場所：市役所2階 大会議室

内容：「消費者問題と情報リテラシー」

講師：(一社) EC ネットワーク理事 原田 由里氏

参加人数：40 名

(2) 出前講座・消費者教育の実施

出前講座での啓発や学校等での消費者教育について、学校・家庭・地域・職域・福祉団体・消費者団体などの要請による消費者教育及びセンターへ直接の申し込みによるラジオ放送や「いきいき出前講座」を行いました。

①大学・専門学校

	月 日	テ ー マ	主 催	人数	担当者
1	5月22日(木)	消費生活の心得について	水戸産業技術専門学院	6	センター長
2	10月30日(木)	消費生活の心得について	水戸産業技術専門学院	6	センター長

②高等学校

3	6月13日(金)	若者が巻き込まれる消費者問題について	水戸平成学院高等学校	30	センター長
4	7月1日(火)	あなたの行動が未来を変える～SDGsについて～	飛鳥未来希望高等学校	8	センター長
5	12月11日(木)	若者の消費者トラブルと対処法について	大成女子高等学校	163	センター長
6	3月3日(火)	若者の消費者問題について	水戸平成学園高等学校	31	センター長

③小・中学校

7	9月11日(木)	中学生も消費者です 若者に多い消費者トラブル について	水戸市立双葉台中学校 3年生	156	センター長
8	10月23日(木)	若者に多い消費者トラブル と対処法について	智学館中等教育学校	15	センター長
9	3月17日(火)	中学生も消費者です エシカル消費を学ぼう	水戸市立内原中学校 1年2組	36	センター長
10	3月17日(火)	中学生も消費者です エシカル消費を学ぼう	水戸市立内原中学校 1年4組	36	センター長
11	3月18日(水)	中学生も消費者です エシカル消費を学ぼう	水戸市立内原中学校 1年1組	36	センター長
12	3月18日(水)	中学生も消費者です エシカル消費を学ぼう	水戸市立内原中学校 1年3組	36	センター長

④地域（一般）

13	6月22日(日)	新時代をかしこく生きる ～生活者として・消費者市 民として～	寿地区自治会連合団体	60	相談員
14	7月11日(金)	キャッシュレス時代を生き るために	水戸南部第二高齢者支援 センター	35	相談員
15	7月11日(金)	デジタル時代をむかえて	水戸南部第二高齢者支援 センター	35	センター長
16	7月13日(日)	あなたの行動が未来を変え る～SDGs について～	水戸市立東部図書館	11	センター長
17	7月25日(金)	新時代の片付け術	ひだまり会 デイライトホーム	10	相談員
18	8月26日(火)	新時代の片付け術	ひだまり会 デイライトホーム	15	相談員
19	10月22日(水)	新時代をかしこく生きる	河和田いきいきサロン	14	センター長
20	11月9日(日)	高齢者の消費者トラブルの 対処法について	吉沢町南一区町内会	9	相談員
21	11月13日(木)	高齢者の消費者トラブルの 対処法について	渡里ことぶき大学	20	相談員
22	11月28日(金)	高齢者の消費者トラブルの 対処法について	社会福祉法人 ひだまり 会	15	相談員
23	12月1日(月)	高齢者の消費者トラブルの 対処法について	白梅自治会	15	センター長

24	12月5日(金)	食品ロスについて	笠原いきいきカレッジ 笠原市民センター	30	センター長
25	12月10日(水)	高齢者の消費者トラブルの 対処法について	飯富市民センター	24	センター長
26	1月14日(水)	新時代をかしこく生きる	みと好文カレッジ	35	センター長
27	1月18日(日)	新時代をかしこく生きる	元石川団地自治会	38	相談員
28	1月18日(日)	あなたの行動が未来を変える	水戸市ボランティア連絡 協議会	53	センター長
29	1月23日(金)	消費者志向経営シンポジウ ム	水戸市消費生活センター	50	金城学院大学 丸山 千賀子氏
30	1月30日(金)	新時代の片付け術	水戸市南部第一高齢者支 援センター	19	相談員
31	1月30日(金)	新時代の片付け術 ～消費者力を高めよう～	水戸市南部第一高齢者支 援センター	18	相談員
32	2月24日(火)	新時代をかしこく生きる ～生活者として・消費者市民 として～	水戸市勤労者福祉サービ スセンター	19	支援員
33	3月21日(土)	生活習慣病を学ぼう	水戸市消費生活センター	40	大場内科クリニ ック院長 小林 正貴氏

⑤ラジオ・テレビ番組への出演

茨城放送 タ刊ほっとボイススタジオでの生放送「消費生活について」に出演いたしました。

	月 日	テ ー マ	媒 体	担当者
1	4月17日(木)	クレジットカードの不正利用に注意しましょう	茨城放送	センター長
2	5月15日(木)	送り付け商法に注意しましょう	茨城放送	センター長
3	6月19日(木)	美容医療トラブルに注意しましょう	茨城放送	センター長
4	7月17日(木)	もうすぐ夏休み 子どもの水難事故に注意しましょう	茨城放送	センター長
5	8月14日(木)	未成年者のオンラインゲーム課金に注意しましょう	茨城放送	センター長
6	9月18日(木)	高齢者がターゲット 点検商法トラブルについて	茨城放送	センター長
7	10月16日(木)	リチウムイオン電池使用製品による発火事故に注意し ましょう	茨城放送	センター長
8	11月20日(木)	新聞購読契約トラブルにあわないために	茨城放送	センター長
9	12月18日(木)	詐欺商法に注意しましょう	茨城放送	センター長
10	1月15日(木)	若者の消費者トラブル対処法について	茨城放送	センター長
11	2月19日(木)	定期購入が多発しています	茨城放送	センター長
12	3月19日(木)	賃貸住宅トラブルについて	茨城放送	センター長

⑥消費者団体が移動教室を行う際、車内で消費生活に関する啓発講座を行いました。

	月 日	テ ー マ	主 催	人数	場 所	担当者
1	5 月 27 日 (火)	「SF 商法」について	五軒消費生活グループ	26	・奥久慈の里	相談員
2	6 月 24 日 (火)	「最近のトラブル事例とその対処法」について	水戸市消費者サポーターの会	30	・道の駅常総 ・(株)染め Q テクノロジー	相談員
3	10 月 9 日 (木)	「無料点検商法・定期購入」について	水戸暮らしの会	26	・(株)TERA 常陸那珂火力発電所 ・(株)やぎぬま農園 ・県植物園きのこ館	相談員
4	10 月 15 日 (水)	「契約の基本原則」について	つねずみ消費者友の会	30	・栃木県大谷資料館 ・ベルテラシュ下谷 ・宇都宮ライトライン	相談員

(3) 令和7年度みと消費者市民大学

デジタル時代の急速な進展のなか、複雑多様化する消費者問題において、被害に遭わないための自立支援にとどまらず、消費者市民として「水戸市消費生活条例」に掲げた公正で持続可能な社会「消費者市民社会」の形成に参画し、市民が地域で安心安全な消費生活を送るため、センターと地域をつなぐ担い手となる「水戸市消費者サポーター」の養成をめざし、幅広い学習の場を提供しました。

期 日・場 所	時 間	講 義 内 容	講 師
10/ 1 (水) 市役所 2 階こ みっとルーム	10:00 10:20～12:00 昼食休憩 13:00～13:10 13:10～15:10	開校式 学長挨拶 学長講義 オリエンテーション サイバー犯罪の現状と被害防止対策	学長 水戸市長 高橋 靖 茨城県警本部サイバー企画課
10/10 (金) 市役所 2 階こ みっとルーム	10:00～12:00 昼食休憩 13:00～15:00	消費者問題の歴史 権利と責任 消費者市民社会の実現に向けて ～水戸市の消費者行政について～	水戸市消費生活センター センター長 田山 知賀子 市民協働部市民生活課

10/17（金） 市役所 2 階こ みっとルーム	10:00～12:00 昼食休憩	食品表示とくらしの安全	茨城県生活衛生課 食の安全対策室
市役所 4 階 中会議室	13:00～15:00	公開講座 消費者問題とネットリテ ラシーについて	（一社）EC ネットワーク 理事 原田 由里氏
10/24（金） 市役所 2 階こ みっとルーム	10:00～12:00 昼食休憩	消費者問題に伴う心の悩みについて	水戸市保健所 社会福祉士 早川 慶氏
	13:00～15:00	見守りネットワークの担い手の役割 について	消費者庁地方協力課 平林 有里子氏
11/7（金） 市役所 2 階こ みっとルーム	10:00～12:00 昼食休憩	消費者トラブルを解決するための法 律知識について	茨城県弁護士会所属 消費者問題対策委員会 弁護士 戸賀崎 篤氏
	13:00～14:00	閉校式	学長 水戸市長 高橋 靖

（４）啓発のための広報紙発行

①「くらしのお手伝い いきいき みと」2025 年度 3 月号を発行

内容：生活習慣病を学び健康寿命を保とう・・・・・・・・・・表紙 P1
 ：くらしと契約 SNS からの投資詐欺に注意・・・・・・・・・・P2
 ：最近の相談事例から・・・・・・・・・・P2
 ：最近の相談事例から・・・・・・・・・・P3
 ：水戸市消費者サポーターだより・・・・・・・・・・P3
 ：令和 7 年度(令和 7 年 4 月～令和 7 年 12 月) 消費生活相談内容・・・P4
 1 位 商品一般
 2 位 フリーローン・サラ金
 3 位 不動産賃貸
 4 位 工事建築
 5 位 基礎化粧品の定期購入
 ：各種相談を受けています
 弁護士相談 第 2・第 4 水曜日 13:00～15:00
 司法書士 第 1 水曜日 13:30～15:30
 建築士 第 1 木曜日 13:00～15:00
 精神保健福祉士 第 3 火曜日 10:00～15:00
 ：ご利用ください！いきいき出前講座

：水戸市消費生活センター案内 地図

②インターネット・ホームページによる情報提供

ホームページに、講座とイベント及び行事のお知らせ、報告、相談事例を掲載し、緊急情報の提供に努めました。

内容：センター案内

お知らせ、行事カレンダー、イベント、消費者トラブルの緊急情報、相談事例、SDG sなどをアップしました。

4) 多重債務者のための心のケア事業

多重債務者は、借金の重圧のため「こころ」を病み、自殺を考えてしまう場合があります。消費生活センターの窓口では、こころの病を「きづき」専門機関の相談窓口「つなぐ」ゲートキーパーとして心のケアに努め、自殺防止の推進をしております。

5) 県などの消費生活相談事業や啓発事業への協力、イベントへ参加

(1) 高齢者向け悪質商法・ニセ電話詐欺被害防止キャンペーンへの協力

日時：令和7年9月19日（金）

場所：カスミフードスクエア水戸赤塚店

参加者：100名

啓発チラシとグッズを配布

(2) 若者向け悪質商法被害防止共同キャンペーンへの協力

日時：令和8年1月11日（日）

場所：水戸市民会館

内容：新成人2,500名に対し、成人式関連物とともに消費者啓発チラシの配布

(3) 環境フェアに消費者サポーターの会との協働によるパネル展示

6) 職員の研修への参加

センター職員の相談についての知識向上のため、各種の研修会に参加しました。

(1) 国民生活センター相談員研修講座（オンデマンドを含む）

月 日	テ ー マ	出席者
6月4日(水)～6月8日(日)	消費者教育養成講座	藤田美紀
6月18日(水)～6月20日(金) 主催：国民生活センター	インターネット取引に関する消費者トラブル	緒 方
8月4日(月)～9月2日(火) オンデマンド配信 主催：国民生活センター	インターネット取引に関する消費者トラブル	安 田
8月6日(水)～8月8日(金) 主催：国民生活センター	金融・保険関連の消費者トラブル	緒 方
11月6日(木)～11月7日(金) 主催：国民生活センター	SNS をきっかけにした取引に関する消費者トラブル	島 田

11月21日(金)～11月22日(土) 主催：国民生活センター	製品安全に関する消費者トラブル	藤田美紀
12月3日(水)～12月5日(金) 主催：国民生活センター	キャッシュレストラブル	緒 方

(2) 茨城県消費生活センター主催の研修（相談員研修、スキルアップ・デジタル研修）

月 日	テ ー マ	出席者
5月20日(火)13:15～15:15 県消費生活センターデジタル	インターネット取引に関する事例と対処法	緒 方
6月17日(火)13:15～15:15 県スキルアップ オンライン	特定商取引法と相談対応について	安 田
8月20日(水)13:15～15:15 県デジタル	インターネット上の違法・有害情報に関する相談	藤田美紀
9月3日(水)10:00～15:00 県スキルアップ	自動車品質等に関する知識・レベルアップ事業	緒 方
12月11日(木)13:15～15:15	アフィリエイト広告の事例と見分け方について	藤田美紀
令和8年2月5日(木)13:15～15:15	旅行関連サービスに関する相談対応	緒 方
3月5日(木) 13:15～15:15	キャッシュレス決済の最新情報について	藤田美紀

(3) その他の研修

9月25日(木)10:00～12:00 全国銀行協会 オンライン	個人情報について	藤田美紀
10月27日(月) 13:30～15:00 県消費生活センター オンライン	第2回市町村相談員実務研修会	安 田
令和8年1月19日(月) 14:00～16:00 日本司法支援センター	令和7年度 日本司法支援センター茨城協議会	藤田美紀
2月27日(金) 10:00～12:00 水戸財務事務所	多重債務問題について	緒 方

7) その他

(1) 会議等への出席

①令和7年度市町村消費生活センター長会議

日時：令和7年5月7日（水）午前10時～12時

場所：茨城県水戸合同庁舎 2階大会議室

②令和7年度消費者問題対策協議会

日時：令和7年9月3日（水）午後3時15分～4時30分

場所：茨城県水戸合同庁舎 2階大会議室

内容：令和7年度における相談受付状況等について

県弁護士会の最近の相談等について

市町村消費生活センター等の相談状況について

その他

出席者：相談員

(2) 業界団体の会合にオブザーバーとして出席

①明治安田生命(株)水戸支社 お客さま懇談会

日時：令和8年2月5日（木）午後1時30分～

場所：明治安田生命8階

主席者：センター長

②日本生命相互会社 ニッセイ懇話会

日時：令和8年2月12日（木）午後2時～

場所：日本生命水戸支社 3階

出席者：センター長

(3) その他

①企業訪問への対応（令和7年4月～令和8年3月）

事業内容の説明、挨拶のためセンターを訪問

事業者来訪社数：39社

来訪者数：53人

対応：センター長、事務長、相談員

(4) 令和7年度決算書

【水戸市】

令和7年度 水戸市消費生活センター業務委託決算報告

収入の部

(単位:円)

科 目	金 額	備 考
市委託料	20,904,382	水戸市より
計	20,904,382	

支出の部

科目	当初予算額 A	決算額 B	増減 B-A	備考
報酬	481,000	404,000	△ 77,000	専門相談員報酬
給料	12,481,000	11,520,480	△ 960,520	センター長・事務長・相談員
給料(日当)	1,472,000	2,157,400	685,400	支援相談員
賞与	2,142,600	2,357,500	214,900	会計年度による
職員手当	844,800	869,520	24,720	交通費
支援相談員手当	80,000	122,816	42,816	交通費
社会保険料等	885,000	889,776	4,776	厚生年金保険、健康保険、子ども子育て 拠出金
報償費	155,000	100,000	△ 55,000	講座等講師謝金
旅費	78,000	78,000	0	
消耗品費	120,000	174,283	54,283	事務用品、新聞購読料 書籍・雑誌、その他
印刷製本費	30,000	119,551	89,551	センター広報紙「いきいき」、公開講座チラシ、ポス ター
役務費	140,000	132,627	△ 7,373	プロバイダ料、切手・郵送費
使用料及び賃借料	85,000	77,771	△ 7,229	コピー機使用料、振込手数料
予備費	9,584	260	△ 9,324	
NPO事務費	1,900,398	1,900,398	0	消費税分
合 計	20,904,382	20,904,382	0	

3 參考資料

1) 広報みと・消費生活センター啓発ページ テーマ

「はい 水戸市消費生活センターです！！」平成13年5月15日号から

回数	掲載期日	テーマ
1	13・5・15	かしこく生きよう新世紀
2	13・7・15	活用しよう！！消費者契約法
3	13・9・15	洗濯機が暴れだす！？
4	13・11・15	ペイオフ解禁ってなあに？
5	14・1・15	ご存知？郵便物の受取拒否
6	14・3・15	少額訴訟手続Q&A
7	14・5・15	昨年の相談事例から（若者編）
8	14・7・15	知っていますか 省エネラベリング制度
9	14・9・15	高齢者が被害に遭いやすい事例
10	14・11・15	内職商法の甘いワナ
11	15・1・15	消費生活と「契約」
12	15・3・15	賃貸住宅の原状回復義務とは？
13	15・7・15	トラブル急増！！「ヤミ金融」
14	15・9・15	明るい老後に「成年後見制度」
15	15・11・15	有料サイトの請求トラブル
16	16・1・15	『こんなはずじゃ…』と思ったら
17	16・3・15	「総額表示方式」スタート
18	16・5・15	「当選しました！」の甘いワナ
19	16・7・15	架空請求にご注意！！
20	16・9・15	携帯電話に有料サイトの料金請求
21	16・11・15	違法なヤミ金融業者にご注意！
22	17・1・15	マルチ商法でのトラブルが増えています
23	17・3・15	借金 保証人と連帯保証人のはなし
24	17・5・15	個人情報を守るために
25	17・8・15	悪質な訪問販売『点検商法』にご注意！
26	17・11・15	悪質な『電話機リース契約』にご注意を！
27	18・2・15	20歳になったら大人の自覚を持って契約を！
28	18・4・15	「事業者と消費者」お互い納得いく契約を
29	18・7・15	最近の相談事例あれこれ
30	18・10・15	多重債務に陥らないために
31	19・1・15	格安ミシンをかうつもりが…
32	19・4・15	賃貸住宅での退去時のトラブル
33	19・7・15	小型ガス瞬間湯沸かし器での事故
34	19・10・15	消費生活相談の状況
35	20・1・15	家族でお金の大切さを話そう
36	20・4・15	皆さんが、安心して消費生活を送れるように
37	20・8・15	困った！相談！楽になる！脱多重債務者応援事業
38	20・12・15	増加する消費者問題 困っていることはありませんか

2) 移動教室の状況

	石川消費生活クラブ	河和田消費生活クラブ	五軒消費生活グループ	つねづみ消費者友の会	常澄生活学校
平成 元 年度	9月20日 常陸太田ヨネビシ醤油 里美村高齢者生産活動センター	11月30日 山方町高村こんにやく 里美村高齢者生産活動センター	9月18日 岡田記念館 栃木県塚田記念館 (青山・村上)		
平成 2 年度	3年 3月 8年 高萩大心燐 平潟港 手造りハム工場 (青山・杉山)	11月27日 野田市キッコーマン 雪印野田工場 (青山・大島)	9月20日 川越荷造り資料館 喜多院むかし館 (金沢)		
平成 3 年度	11月25日 雪印野田工場 (青山)	6月17日 日産自動車栃木 岡田記念館 (青山・大島)	5月 2日 印旛郡全国農協直販総合基幹工場 成田貨物ターミナル (青山・杉山)		
平成 4 年度	7月23日 つくばハム工場 玉造水の科学館 (金沢)	7月22日 守谷アサヒビール工場 玉造水の科学館 (倉田)	5月18日 大洋シーフーズ 宇都宮工場 那須オルゴール美術館 (倉田・杉山)	10月29日 水戸市施設 (金沢)	7月30日 雪印野田工場 守谷アサヒビール工場 (倉田・大島)
平成 5 年度	10月 1日 守谷アサヒビール工場 つくば地質標本館 (金沢)	10月15日 関東リサイクルセンター 石下町地域交流センター (倉田・杉山)	9月24日 江戸東京博物館 守谷アサヒビール工場 (金沢)	6月21日 大洗工芸センター 潮来長勝寺 (倉田)	5月17日 大洋シーフーズ 宇都宮工場 益子焼共販センター (倉田)
平成 6 年度	7月 8日 里美村高齢者生産活動センター 電神大吊橋 (杉山)	7月 6日 キュービー五霞工場 古河歴史博物館 (栗田)	10月 7日 つくばエキスポセンター キュービー五霞工場 (倉田)	5月17日 奥久慈クレソン工場 水府村生産直売所 電神大吊橋 (倉田)	5月17日 奥久慈クレソン工場 こんにやく 関所 電神大吊橋 (栗田)
平成 7 年度	6月27日 奥久慈茶の里公園 奥久慈クレソン工場 (倉田)	7月 5日 岩井自然博物館 石下町山中酒造店 (倉田) 51名	11月10日 岩井自然博物館 野田市キッコーマン (栗田) 51名	つくば 自家用車	6月13日 岩井自然博物館 水海道一言主神社 石下町豊田城地域交流センター (倉田) 22名
平成 8 年度	11月26日 石岡ソントンジャム 県フラワーパーク (栗田) 30名	7月30日 県栽培漁業センター 旭電化鹿島工場 (澤田) 43名	2月19日 県栽培漁業センター 旭電化工場 鹿島スギヤム (栗田) 46名	6月18日 江戸東京博物館 浅草寺 (鈴木) 33名	5月29日 県栽培漁業センター はまなす公園 (栗田) 28名
平成 9 年度	7月 1日 潮来町あやめ園 鹿島神社 登坂漬物園 立原佃煮店 (小坪) 51名	11月12日 天心記念五浦美術館 たつご味噌 (澤田) 31名	10月28日 江東区ガスの科学館 夢の島熱帯博物館 (小坪) 47名	6月25日 花園神社 童話の森 ガラス工房 なたつご味噌 (鈴木) 31名	5月19日 筑波山神社 宇宙センター 花木園芸センター (鈴木) 27名
平成 10 年度	11年 2月 1日 茨城新聞社プレスセンター 園芸リサイクルセンター (住谷) 53名	11年 2月12日 茨城新聞社プレスセンター 幕末と明治の博物館 (倉田) 37名	11年 3月 5日 桐生織物観光センター 富広美術館 足尾銅山 (倉田) 37名	11年 3月25日 花王栃木工場 和紙会館 (倉田) 38名	5月10日 天心記念五浦美術館 たつご味噌 (住谷) 34名
平成 11 年度	10月 1日 足尾銅山 木彫りの里工芸センター (住谷)	7月 6日 足尾銅山 (住谷)	10月20日 岩下食品山車館 栃木県塚田記念館 (住谷)	5月26日 天心記念五浦美術館 むく森の湯 (住谷)	5月21日 足尾銅山 (住谷)
平成 12 年度	7月 5日 東洋羽毛白河工場 (村上) 47名	5月10日 東洋羽毛白河工場 (小鷹) 42名	8月 2日 ワーブステーション江戸 筑波宇宙センター (熊田) 35名	5月31日 東洋羽毛白河工場 (小鷹) 43名	5月23日 タカノフーズ イトウ製菓 (小鷹) 39名
平成 13 年度	7月 5日 明治乳業みるく館 キャッツアグリシステムズ (小鷹) 44名	6月20日 明治乳業みるく館 ワーブステーション江戸 (長谷川) 41名	10月10日 東洋羽毛白河工場 (長谷川) 40名	14年 3月 5日 県工業技術センター 笠間陶芸美術館 (長谷川) 30名	6月 6日 東洋羽毛白河工場 (小鷹) 29名
平成 14 年度	7月 9日 美野里ふるさと食品公社 昭和産業工場 県栽培漁業センター 鹿島サッカー場 (小鷹) 45名	6月26日 昭和産業鹿島工場 佐原水生植物園 (小鷹) 39名	10月29日 東関東リサイクルパーク 牛久シャトー カガミクリスタル (小鷹) 45名	15年 1月31日 県漁業栽培センター 昭和産業鹿島工場 鹿島神社 (小鷹) 40名	5月22日 ゼロ・ワンの郷 美野里ふるさと食品公社 (小鷹) 33名
平成 15 年度	6月20日 ホテルニューオータニ コンポストプラント施設 (長谷川) 36名	6月18日 ホテルニューオータニ コンポストプラント施設 (小鷹) 43名	7月 1日 ホテルニューオータニ コンポストプラント施設 (長谷川) 46名	9月18日 佐野アウトレット 森永製菓小山工場 (小鷹) 37名	6月11日 キュービー五霞工場 トモエ乳業 (小鷹) 23名
平成 16 年度	6月18日 巢鴨とげぬき地蔵 国立印刷局滝野川工場 (長谷川) 43名	6月16日 筑波実験植物園 筑波宇宙センター (小鷹) 35名	7月 9日 タカノフーズ 茨自販リサイクルセンター (小鷹) 40名	7月15日 巢鴨とげぬき地蔵 国立印刷局滝野川工場 (長谷川) 45名	7月 1日 奥久慈ゆばの里 くめ・クリティ・プロダクツ (小鷹) 32名
平成 17 年度	6月10日 NHKスタジオパーク 浅草寺 (長谷川) 41名	6月15日 奥久慈ゆばの里 常陸太田市清掃センター (小鷹) 40名	10月 5日 椿山荘 造幣局東京支局 (長谷川) 46名	7月22日 ホテルニューオータニ コンポストプラント施設 (長谷川) 39名	5月20日 筑波実験植物園 筑波宇宙センター (長谷川) 30名
平成 18 年度	5月29日 カルビー宇都宮工場 ロマンチック村 (塙) 44名	6月 7日 NHKスタジオパーク 浅草寺 (長谷川) 40名	11月13日 国立印刷局滝野川工場 巢鴨とげぬき地蔵 (長谷川) 38名	9月28日 東京消防庁本所防災館 柴又帝釈天 (長谷川) 32名	5月30日 巢鴨とげぬき地蔵 国立印刷局滝野川工場 (長谷川) 29名
平成 19 年度			10月12日 江戸東京博物館 浅草寺 (塙) 35名	5月24日 足利学校 あしかがフラワーパーク (長谷川) 35名	5月22日 ウオッセ21 ヤマサ醤油 (長谷川) 26名
平成 20 年度			7月23日 東洋羽毛 相模原工場 相田みつを美術館 (小鷹) 29名 10月21日 袋田の滝、ゆばの里、奥久慈茶の里公園 (小鷹) 44名	11月27日 カガミクリスタル 牛久シャトー (小鷹) 32名	5月22日 タカノフーズ イトウ製菓 (小鷹) 22名
平成 21 年度			10月14日 花王栃木工場 ろまんちっく村 (長島) 40名	7月16日 明治乳業みるく館 アサヒビール茨城工場 (山内) 38名	

	水戸暮らしの会	水戸生活学校	水戸 セイフティネット	渡里消費生活 クラブ	内原町暮らしの会
平成 元 年度	7月10日 日本銀行 貨幣博物館 (貯蓄普及)	11月22日 三田村 群馬県ナチュラル工場 (金沢)		6月 5日 クレソン 藤田園 清水園長福寺 (青山・村上)	
平成 2 年度	7月11日 都消費生活センター試験研究所 東京証券取引所 (青山・杉山)	5月15日 牛久愛知総合病院 牛久明恒パール (金沢)		5月25日 日産自動車栃木 岡田記念館 塚田記念館 (青山・杉山)	
平成 3 年度	6月21日 資源リサイクルセンター 松戸市役所 (金沢)	4年 3月 5日 野田市キッコーマン 守谷アサヒビール工場 (金沢)		4年 3月 9日 雪印野田工場 守谷アサヒビール工場 (青山・杉山)	
平成 4 年度	9月 9日 大洋フーズ 宇都宮工場 栃木県立美術館	9月 8日 江東区ガスの科学館 夢の島熱帯博物館 (金沢)		12月 7日 北茨城市ミツウロコ工場 大津港	
平成 5 年度	11月 1日 大黒屋水産食品 県水産試験所 (倉田)	6年 3月22日 五霞村キユービーマーズ 総和町山崎ナビスコ (杉山)		7月28日 関東リサイクルセンター 石下町地域交流センター (金沢)	
平成 6 年度	10月 6日 野田市キッコーマン 大佐久ヤ 梨狩り (杉山)	10月11日 利根コカコーラボトラーズ 老人福祉センター滝の園 特老峰林荘 (倉田)		7月25日 サントリーウキスキー 梓の森プラント 栃木市蔵の街 (栗田)	
平成 7 年度	10月 6日 奥久慈ゆばの里 茶の里公園 館山ふるさとランド (杉山) 28名	10月26日 江戸東京博物館 石岡ソントンジャム (倉田) 45名		6月21日 石岡ソントンジャム つくばエキスポセンター (栗田) 32名	
平成 8 年度	5月17日 県栽培漁業センター 旭電化鹿島工場 (鈴木) 24名	10月29日 古河市福祉の森会館 境町サンパルク茨城工場 (鈴木) 46名		6月 5日 県栽培漁業センター 昭和産業鹿島工場 (栗田) 39名	
平成 9 年度	6月20日 筑波宇宙センター 出羽屋佃煮工場 花木園芸センター (澤田) 26名	7月22日 美浦マッシュルームゲハウス ビリ天神 県栽培漁業センター (杉山) 49名		10月 7日 童話の森ふれあいパーク ガラス工房リカ たつこ味噌 (小塚) 35名	
平成 10 年度	8月 3日 千葉県西部防災センター 筑波農業研究団地内農業生物 資源研究所 (倉田) 28名	10月 6日 筑波農業研究団地内農業生物資源研究所 マカベシムバークートピア併設住宅介護 支援センター (倉田) 43名		6月 8日 野田市キッコーマン 県フラワーパーク (倉田) 38名	
平成 11 年度	9月 1日 取手市キャッツアグリシステムズ キリンビール取手工場 (住谷)	6月22日 千代川村老人介護施設「しろがね」 つくばリサーチギャラリー農業 研究センター (住谷)		6月 4日 足尾銅山 (住谷)	
平成 12 年度	6月 6日 茨自販リサイクルセンター 航空自衛隊百里基地 タカノフーズ (小鷹) 47名	9月 8日 東洋羽毛白河工場 (小鷹) 30名		5月17日 東洋羽毛白河工場 (熊田) 43名	
平成 13 年度	5月16日 成田税関支署 成田貨物支店 (長谷川) 36名	10月16日 ゼロ・ワンの郷 美野里ふるさと食品公社 (小鷹) 35名	14年 1月11日 昭和産業鹿島工場 県漁業栽培センター (小鷹) 28名		
平成 14 年度	5月17日 北茨城市肥育生産農家 マウントあかね (小鷹) 37名	10月22日 東関東リサイクルパーク 牛久シャトー カガミクリスタル (長谷川) 39名	7月25日 日本銀行本店 貨幣博物館 NHK 放送センター (長谷川) 43名		
平成 15 年度	5月16日 キユービー五霞工場 ツムラ茨城工場 (長谷川) 32名	7月29日 ホテルニューオータニ コンポストプラント施設 (小鷹) 40名	7月17日 造幣局東京支局 サンシャインシティ (長谷川) 38名		
平成 16 年度	6月29日 日本新聞博物館 (小鷹) 32名	10月26日 日本新聞博物館 (小鷹) 40名	7月 8日 巢鴨とげぬき地蔵 国立印刷局滝野川工場 (小鷹) 45名		
平成 17 年度	6月17日 埼玉県志木市 穂坂元市長 (長谷川) 26名	6月28日 奥久慈ゆばの里 くめ・カオリ・ブロッダク (小鷹) 41名	7月12日 東京消防庁本所防災館 柴又帝釈天 (小鷹) 45名		10月 6日 サンシャイン60 東京消防庁池袋防災館 (小鷹) 32名
平成 18 年度	6月 9日 「食と農」博物館 (鳩) 32名	11月27日 東京消防庁本所防災館 浅草寺 (鳩) 32名	7月21日 国会議事堂 (鳩) 44名		10月 2日 桐生織物観光センター 足利学校 (長谷川) 23名
平成 19 年度	6月14日 TEPCO 地球館 (長谷川) 23名	6月26日 国立印刷局滝野川工場 巢鴨地蔵 (鳩) 36名	7月20日 江戸東京博物館 浅草寺 (長谷川) 43名		11月22日 平和物産堆肥施設 (長谷川) 22名
平成 20 年度	6月6日 動物衛生研究所 食品総合研究所 (小鷹) 24名	6月24日 花王栃木工場 オイシア清原工場 (柏) 37名	7月9日 筑波宇宙センター 地図と測定の科学館 サイエンス・スクエアつくば (柏) 38名		9月11日 筑波宇宙センター 食品総合研究所 (上原) 21名
平成 21 年度	5月29日 ユーバル矢祭 (柏) 40名	6月9日 鹿島神宮 前川あやめ園 登坂漬物店 (柏) 40名	7月14日 明治乳業守谷工場 アサヒビール茨城工場 (長島) 37名		11月12日 宮染 (中川染物工場) 大谷観音 (柏) 23名

	五軒消費生活 グループ	つねずみ消費者 友の会	水戸暮らしの会	水戸 セイフティーネット	内原町くらしの会
平成 22 年度	10月13日 石岡茨城乳業 小美玉・タカノフーズ 納豆博物館・茨城空港 (長島) 29名	7月15日 茨城空港 キュービー五霞工場 (柏) 39名	6月16日 筑波宇宙センター サイエンス・スクエア (柏) 23名	7月21日 茨城空港・花王鹿島工場 (長島) 31名	10月14日 (株) パン・アキモト ホウライの那須千本松牧場 (長島) 27名
平成 23 年度	10月12日 今市丸彦製菓 日光二荒山神社中宮祠 (柳橋) 40名	10月20日 (株) パン・アキモト 創造の森農園レストラン (柳橋) 43名	6月10日 つくば市みずほの村市場 食と農の科学館 (和泉) 21名	11月18日 予科練平和記念館 阿見アウトレット (小鷹) 35名	10月13日 向島「梅鉢屋」 浅草寺 (柳橋) 22名
平成 24 年度	11月12日 特別養護老人ホーム久慈川荘 姫ヶ滝りんご園 (柳橋) 33名	10月4日 向島「梅鉢屋」 東京スカイツリー・そらまち (小鷹) 31名	6月1日 カガミクリスタル 国土地理院 筑波ハム (柳橋) 24名	7月18日 とちぎ蔵の街 日産栃木工場 (小鷹) 44名	10月11日 エフビコ関東リサイクル工場 坂野家住宅 (柳橋) 30名
平成 25 年度	6月10日 六角堂 野口雨情生家・資料館 (柳橋) 41名	9月26日 ガトーフェスタ原田 (小鷹) 42名	11月18日 カルビー清原工場 花王栃木工場 (小鷹) 20名	7月19日 霞ヶ浦環境科学センター コカ・コーラ茨城工場 (小鷹) 30名	10月10日 六角堂 鶴の岬 (柳橋) 36名
平成 26 年度	7月2日 明治みるく館 筑波ハム (橋崎) 42名	10月16日 築地市場 国会議事堂 (柳橋) 43名	6月13日 筑波海軍航空隊記念館 茨城県陶芸美術館 不二製油㈱関東工場 (柳橋) 20名	7月15日 宇都宮ろまんちっく村 栃木県防災館 (橋崎) 35名	10月9日 日本薬品工業㈱ きらいち・板谷波山記念館 (橋崎) 31名
平成 27 年度	7月3日 坂野家住宅 キュービー(株)五霞工場 (沼田) 36名	10月15日 とちぎの蔵の街 栃木防災館 (沼田) 43名	6月19日 筑波実験植物園 JAXA宇宙センター (沼田) 16名	6月26日 米屋羊羹工場 (沼田) 32名	10月8日 雪印メグミルク阿見工場 予科練平和祈念館 (沼田) 25名
平成 28 年度	6月27日 ウインド・パワーいばらき (森田) 42名	10月21日 柴沼醤油 (鬼沢) 37名	6月17日 産業総合研究所 予科練平和祈念館 (森田) 15名	6月23日 国宝白水阿弥陀仏 塩屋塔灯台 (鬼沢) 39名	9月8日 ツムラ漢方記念館 (山内) 29名
平成 29 年度	6月30日 トモエ乳業 (宮窪) 30名	11月2日 カバヤ食品 (宮窪) 42名		6月23日 キュービー五霞工場 関宿城博物館 (宮窪) 33名	10月12日 柳田國男記念公苑 カガミクリスタル (鬼沢) 20名
平成 30 年度	6月20日 郵政博物館 東京スカイツリー (吉田) 26名	10月18日 小江戸 川越・蔵造り町並み あぐれっしゅ川越 (宮窪) 35名	7月13日 日光東照宮 (宮窪) 24名	6月22日 川越大師喜多院・まつり会館 小江戸 川越・蔵造り町並み (宮窪) 32名	6月14日 日鉦記念館 御岩神社 (宮窪) 27名
	五軒消費生活 グループ	つねずみ消費者 友の会	水戸暮らしの会	消費者サポーター	内原町くらしの会
令和 元 年度	6月19日 水郷佐原あやめパーク 伊能忠敬記念館 (蛭田) 32名	10月3日 与田浦コスモス、香取神宮 伊能忠敬記念館 (蛭田) 37名	6月21日 上花輪歴史観 キッコウマンものしり館 (蛭田) 19名		10月8日 朝日里山学校、県フラワーパ ーク(八郷) (蛭田) 23名
令和 2 年度	中止	11月18日 水戸市清掃工場えこみっと 弘道館・大手門 (蛭田) 19名	中止	中止	中止
令和 3 年度	10月8日 水戸市清掃工場えこみっと (深谷) 21名	10月11日 道の駅 かさま (矢部) 18名	10月21日 水戸市植物公園 (深谷) 10名	7月13日 水戸市清掃工場えこみっと (深谷) 20名	11月16日 水戸市清掃工場えこみっと (矢部) 12名
令和 4 年度	5月19日 茨城県フラワーパーク ポケットファームどきどき (塚本) 22名	10月6日 吉田正音楽記念館音楽記念 館・かみね動物園・日立シビ ックセンター (塚本) 22名	9月9日 水戸八景巡り (塚本) 15名	6月17日 雨引観音・しもだて美術館 (深谷) 15名	10月11日 ひたちオリジンパーク・西山 の里桃源、木内酒造 (深谷) 22名
	五軒消費生活 グループ	つねずみ消費者 友の会	水戸暮らしの会	消費者サポーター	
令和 5 年度	10月11日 牛久大仏 牛久シャトー (尾崎) 30名	10月26日 廣澤美術館 いばらきフラワーパーク (尾崎) 35名	10月20日 鈴木牧場 駒村清明堂 (尾崎) 15名	6月22日 茨城県近代美術館 道の駅 常総 エフビコ関東リサイクル工 場 (尾崎) 30名	
令和 6 年度	6月25日 北茨城アジサイの森 漁業歴史資料館よう・そろー (下田) 21名	10月10日 日本科学未来館 (増子) 27名	10月18日 奥久慈ゆばの里 奥久慈茶の里公園 (塚本) 11名	6月13日 特定廃棄物理め立て情報館 リブルンふくしま (深谷) 40名	
令和 7 年度	5月27日 奥久慈茶の里公園 豊田りんご園 (小林) 21名	10月15日 大谷資料館 (小林) 32名	10月9日 常陸那珂火力発電所 やぎぬま農園 (小林) 21名	6月24日 株式会社染めQテクノロジー 道の駅 常総 (小林) 21名	

3) 国民生活白書等テーマの変遷

年度	国民生活白書・消費者白書の テーマ・特集	消費生活展・省資源フェア テーマ	消費者月間記念講演会 テーマ・講師
昭和 45 年	豊かな人間環境の創造		
46 年	豊かな社会への構図		
47 年	日本人とその社会		
48 年	日本人の暮らしとその質		
49 年	不安の時代の克服のために		
50 年	変わる生活、変わる世代	くらしの 24 時間	(財) 日本消費者協会普及室長 金森房子
51 年	暮らしのなかの新しい底流	あすの暮らしを考える	
52 年	暮らしの見直し、 新しい豊かさを求めて	暮らしを見直す	
53 年	新しい暮らしと地域の中の連帯	みんなで考えよう子供のくらし	「これからの消費者のあり方」
54 年	生活基盤の充実と機会の拡大	もう一度考えよう身近な暮らし	「これからのくらしと消費者」 生活評論家 勝部 三枝子
55 年	変わる社会と暮らしの対応	身近なくらし大切に	「商品購買動向と消費者」カミスト7総務部長 「これからのくらしと経済」茨大教授 北岡甲子郎
56 年	生活の質的充実とその課題	見直そう身近なくらい	佐藤 恵子
57 年	安定成長下の家計と 変貌する地域の生活	明日をつくる豊かなくらし	「食生活を見直そう」 前国立栄養研究所応用食品部長 岩尾 裕之
58 年	ゆとりある家計と 新しい家族像を求めて		「うまい話にご用心」 NHK ディレクター 宮崎 経生
59 年	人生 80 年のゆとりと安定のために	85 くらしは知恵を工夫で	「これからの社会と消費者」 NHK アナウンサー 笠井 三根夫
60 年	戦後 40 年：熟成の時代に向けて	暮らしに生かそう知恵と工夫	「放送あれこれ」 NHK 水戸放送局長 河原 孝美
61 年	世界に開かれた豊かな生活を求めて	視野を広げ自立する消費者に	茨城新聞社編集局長 鈴木 邦夫
62 年	円高の活用と豊かな資産の創造	21 世紀を生きる 本当に豊かですか？あなたの食卓	「くらしと経済」 (財) 常陽産業開発センター専務理事 宗田 義弘
63 年	多様化する生活と国民意識		「女性は今」 常盤学園短期大学教授 佐藤 啓子
年度	国民生活白書のテーマ	消費生活展・省資源フェア テーマ	消費者月間記念講演会 テーマ・講師
平成 元年	人生 70 万時間、豊かさの創造	90 ザ・生活情報 一発見！いっぱいー	「女性は今」 生命保険文化センター研究員 長谷川 有紀子
2 年	人にやさしい豊かな社会	くらしのキーワードー地球・人・生活ー 省資源フェア リサイクルマーケット	「生活者宣言」思いつくまま・気の向くまま 茨城放送アナウンサー 小川 啓子
3 年	東京と地方 ゆたかさへの多様な選択		「家族はどこへ行く・・・」 茨城大学助教授 酒井 はるみ
4 年	少子社会の到来 その影響と対応	省資源フェア すてないで！私はまだまだお役に立ちます。	「かしこい消費者やりますか」 シオン短期大学教授 川上 美智子
5 年	豊かな交流人 一人とのふれあいの再発見	今すぐみなおそうー自分のくらしー	(財) NHK サービスセンター 理事 石澤 清史
6 年	実りある長寿社会に向けて	省資源フェアもったいない市 ーリサイクル、できることから始めようー	茨城女子短期大学 教授 松永 曉子
7 年	戦後 50 年の自分史 多様で豊かな生き方を求めて	第 14 回水戸市みんなの消費生活展 とりもどそう！本当のくらしー安全で豊かな生活をー	茨城大学教授 飯塚 和之
8 年	安全で安心な生活の再設計	省資源フェアもったいない市 ーもう一回使ってくださいー	「生かそう情報くらしの中で」 国民生活センター 小池 信子
9 年	働く女性 新しい社会システムを求めて	第 15 回水戸市みんなの消費生活展 21 世紀に向けてー育てようたしかな目ー	「規制緩和と自己破産」 茨城女子短期大学 川俣 英一
10 年	「中年」ーその不安と希望	省資源フェアもったいない市 ーもう一度使ってみませんかー	「ごみとダイオキシン」 桜美林大学名誉教授 大喜田 敏一
11 年	選職社会の実現	第 16 回水戸市みんなの消費生活展 市制 110 周年記念 たしかな情報かしこい選択	「多発する消費者被害」 弁護士 安彦 和子
12 年	ボランティアが求める好縁	省資源フェア みと	「暮らしと経済ー変わる経済、変えるくらし」 常陽地域研究センター研究部長 松本 治郎
13 年	家族の暮らしと構造改革	第 17 回水戸市みんなの消費生活展 21 世紀の食生活を考えるー輸入農作物の現状を探るー	「弁護士からみた悪質商法」 弁護士 安彦 和子
14 年			「高齢者社会を安全に過ごすための相続遺言の仕方」 弁護士 安彦 和子
15 年	デフレと生活 ー若年フリーターの現在	第 18 回水戸市みんなの消費生活展 見直そう わたしたちの衣食住 (くらし)	「ごみと経済と環境」 早稲田大学教授 中村 慎一郎
16 年	人のつながりが変える暮らしと地域 ー新しい「公共」への道		「しっかりと選ぼう 消費者の知恵で」 流通経済大学法学部教授 山口 康夫
17 年	子育て世代の意識と生活	第 19 回水戸市みんなの消費生活展 来て 見て 触れて くらしの豆知識	「活かそう権利 めざそう自立」 茨城大学 長谷川 幸介
18 年	多様な可能性に挑める社会に向けて		「知恵と勇気で消費者被害を防ごう」 弁護士 安彦 和子
19 年	つながりが築く豊かな国民生活	第 20 回水戸市みんなの消費生活展 地球のエコロジー	「みんなで築こう身近な安全・安心」 国士舘大学法学部教授 山口 康夫

20 年	消費者市民社会への展望 ーゆとりと成熟した社会構築に向けてー	環境フェスタ2008 水と緑をはぐくみ 豊かな環境を未来へ引き継ぐまち水戸	「本当の食べ物を食べるために」 次世代を守る会代表 筧 次郎
21 年		環境フェスタ2009 水と緑をはぐくみ 豊かな環境を未来へ引き継ぐまち水戸	「最新の消費者事情」 弁護士 安彦和子
22 年			成年後見制度の活用について 権利擁護センター足立専門相談員 児玉 良子 国土館大学法学部教授 山口 康夫
23 年			東日本大震災の影響により中止
24 年		魅力ある水戸を 次世代の子どもたちにつなげよう！	「安心・安全いま新たなステージへ」 国土館大学法学部教授 山口 康夫
25 年	※平成25年から「消費者白書」 高齢者の消費者トラブル		「見守りネットワークで防ごう！消費者トラブル」 茨城大学准教授 長谷川 幸介
26 年	食をめぐる消費者問題 情報通信の発達と消費者問題	私たちの「いま」が笑顔あふれる未来をつくる	
27 年	グローバル化の進展と消費者問題 消費者を取り巻く社会経済情勢と消費者行動・意識		「みんなでつくろう！消費者が主役の社会!!」 消費者庁長官 坂東 久美子
28 年	地方消費者行政の充実・強化に向けて		「みんなの強みを活かして安全・安心な社会 に一億総活躍～」 国土館大学法学部教授 山口 康夫
29 年	若者の消費		「行動しよう 消費者の未来へ」 国民生活センター理事長 松本 恒雄
30 年	ともに築こう 豊かな消費社会 ～誰一人取り残さない～	環境フェアのテーマ 千波湖めぐみ	「エシカル消費のすすめ」 エシカル協会代表理事 末吉 里花
元年	ともに築こう 豊かな消費社会 ～誰一人取り残さない2019～	環境フェアのテーマ くらしからはじめるエコシティみと	「エシカル消費を考える2019」 弁護士 島田 広 他
2 年	「豊かな未来へ 『もったいない』から 始めよう！～」	環境フェアのテーマ 中止	「豊かな未来へ 『もったいない』からはじめ よう！」パネル展
3 年	「“消費”で築く新しい日常」	環境フェアのテーマ 中止	今日からはじめるエシカル消費～消費の力で 未来を変えよう～ (公財)消費者教育支援センター 専務理事 首席首席研究員 柿野成美
4 年	考えよう！大人になるとできること、気 を付けること ～18歳からオトナに～	環境フェアのテーマ きて、みて、考えよう 未来の環境	「成年年齢引下げと若者の消費者トラブルにつ いて」 茨城県弁護士会副会長 消費者問題対策委員会 清水 繁
5 年	デジタルで快適、消費生活術 ～デジタル社会の進展と消費者のくらし～	一緒に目指そうゼロカーボン ～身近なことからコツコツと～	「デジタル社会の進展と消費者問題～金融トラ ブルも含めて～」 東京経済大学教授 弁護士 村千鶴子
6 年	デジタル時代に求められる消費者力とは	まちなかエコアドベンチャー！ 見て、聞いて、楽しんで学ぼう環境のこと	「デジタル時代と消費者問題～消費者力を高め よう～」 前(独)国民生活センター理事長 弁護士 松本恒雄
7 年	明日の地球を救うため、消費者にできる こと グリーン志向消費 ～どのグリーンにする？～	環境フェアのテーマ 未来にタッチ！真冬のエコ・ストーリー	「エシカルな消費、そしてその先へ」 ～グリーン志向消費をめざして～ 茨城大学人文社会科学部教授 蓮井 誠一郎

4) 消費生活展団体テーマの変遷

	石川消費生活 クラブ	河和田消費生活 クラブ	五軒消費生活 グループ	つねずみ消費者 友の会	常澄生活学校	水戸暮らしの会
昭和 61 年度	食生活を見直そう	納豆の作り方 野菜の産直	水と人の結びつき			紙おむつの便利さに 流されていませんか もう一度見直してみ ましょう
昭和 63 年度	みんな野菜と 仲良くね	添加物を使わない 伝統食 漬物	だいじょうぶ？ 輸入食品			ためてみよう 身近な食品
平成 元 年度	水に流せない 水の話	ヘルシイ 手作りこんにやく	いま、増えています 骨粗しょう症			環境汚染の一因 フロンガス
平成 3 年度	ふれあい電話 対話でつなごう 明るい老後	田舎みそ 麴作りから	くらしのクイズ BOX			あなたのごみは いくらかご存知？ 毎日の買い物は ごみとの戦い
平成 5 年度	不足していません か？カルシウム	健康一番！ 食卓にお豆腐を	リサイクルはまず 再商品の購入から	手作り味噌で 楽しい食事	すてるまえに もう一度	前処理で減らせる 食品添加物
平成 7 年度	ボイ捨てから生かす リサイクルへ	家庭でできるヘルシ ーこんにやく、 おいしく食べて ダイエット	災害時、できていま すか 防犯対策、 自分の命は自分で守 ろう	ご存知ですか、 ボカシ 生ごみの リサイクル	ひらめくアイディア 生かそう資源	考えてみよう 強化微量栄養食品
平成 9 年度	うまい話に 気をつけよう	畑からカルシウム ー上手に乾燥・ おいしく調理ー	美しく地球環境を 守るために ーみんなで考えー人 ひとり始めようー	ちょっと 手をかけてみて ー生ごみの リサイクルー	拭きとって、 きれいな川は あなたから	ご存知ですか ー糖分にもいろい ろあることをー
平成 11 年度	うまい話に 気をつけよう！！ パートⅡ	身近な山野より 健康酒	子供（幼児期）の ための食事	自然に返して 活かそうよ ー生ごみの リサイクルー	自分の体は 自分で守ろう 1食事2運動3予防	あなたは栄養食品に 頼り過ぎていません か
平成 13 年度	有機野菜栽培 食品の表示について	増えてきた輸入 農産物の現状を 探る	遺伝子組み換え 食品を食べても 大丈夫ですか？	増えてきた輸入 農産物の現状を 探る	遺伝子組み換え 食品を食べても 大丈夫ですか？	生鮮食料品の 原産地表示について
平成 15 年度	有機食品の 表示について	ヘルシーコンニャク の作り方 紫錦梅の作り方	創立20周年を迎え た「みと・リサイク ルコーナー・ごけん」	海藻でリフレッシュ 見直そう身近な食材		何だろう！アミノ酸飲料？ ご存知？即席みそ汁の いろいろ 調べてみよう？塩分と糖分
平成 17 年度	見直そう！ スローフード	地産地消のススめ こんにやくを つくってみよう！	リサイクルバザー おしやれに リフレッシュ	ヨーグルト、 比べてみれば…	リサイクル工作 古時計が素敵な インテリアに	「黒酢」について
平成 19 年度				見直そう！ 米の研ぎ汁	リサイクル工作 チラシでバスケット を作る	バイオ燃料を考える
平成 20 年度				生ごみ堆肥化の すすめ	リサイクル再利用	バイオエタノール 燃料を考える
平成 21 年度				生ごみは資源です マスクの研究		意外と知らない塩に ついて
平成 24 年度				生ごみの堆肥化 EMボカシ作り講習 無料配布		デフレというけれど 物価は実際は値上が りしているヨ

	水戸生活学校	水戸セイフティー ネット	渡里消費生活 クラブ	内原町くらしの会	水戸市食生活 改善推進員	水戸市農村生活推進 グループ連絡協議会
昭和 61 年度	活力ある高齢化 社会をめざして (かしこく、楽しく、 すこやかに)		リフォーム、アイデ ィアを生かして、 たのしい主婦の知 恵		貧血は栄養の バランスから	
昭和 63 年度	まず健康健やかに 長寿社会を生きる		みそ… ー おみそいろいろ		子供の食事 ー 成人病予備軍は 大人の責任ー	
平成 元 年度	共に助け合い 住宅福祉をめざして		リフレッシュ！ リフォーム		一杯の味噌汁から	
平成 3 年度	在宅福祉の充実を 求めて		リフォームもう一度 考えてみよう 新しい明日を 創るために		食 危険いっぱいの 子供たち	
平成 5 年度	私たち一人ひとりに できることは		見直しませんか ヘルシー&ダイエッ トのイワシ料理		レッド・イエロー・ グリーンを食卓に	
平成 7 年度	共に生き、共に考える 高齢化社会、住宅福祉 サービスいろいろ		塩分控えた保存食あ れこれ		健康づくりの3本柱 栄養・運動・休養	
平成 9 年度	健康長寿の鍵を握る ー 明るい明日の ために ー		環境を保つために まずは身近な所から		家庭でふせごう 食中毒	食卓と地元産 つなごう安心の輪
平成 11 年度	すてない心で 楽しくリサイクル		減塩漬物と保存食あ れこれ		おもしろBOX	考えあおう地域内 自給自足健康生活
平成 13 年度	輸入農産物の 安全性と品質に ついて	くらしを見直そう			おもしろBOX	いきいき学び 豊かな未来へ ともに歩もう
平成 15 年度	使い捨てより リサイクル工作 できることから 楽しく継続的に	“シックハウス 症候群”とは？			おもしろBOX 年代別食品の組み合 わせと分量の目安	あなたの笑顔が 私の笑顔元気農業 ステップ・ジャンプ
平成 17 年度	不用品ひと手間 かけて再利用	循環型社会って		古傘を使って素敵に リサイクル 内原の食材で手軽に スイーツ作り		元気農業 ステップ・ジャンプ
平成 19 年度	リデュース・リユ ース・リサイクル（3 R）の意識をたかめ よう	地産地消 食をさがして		身近な家庭から エコライフ		
平成 20 年度	工夫と発想で エコロジー			古布・古傘布・リサ イクル・水質浄化E M菌の効用		
平成 21 年度	工夫と発想で リサイクル			あまり布から ステキにリサイクル		
平成 24 年度				新聞紙で作る エコバッグ		

※1 平成19年度まで、消費生活展、環境展、ごみ減量推進大会を、それぞれ別々に開催してきたが、平成20年度より、それらを環境フェスタとして2年に1度、まとめて開催することとした。

※2 平成21年度は開催年でないが、市制施行120周年のため開催した。

※3 平成23年度は開催年であるが、東日本大震災の影響などにより、開催しないこととした。